



— む ら —

ディスカバー農山漁村の宝

【趣旨】

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

平成26年度から実施され、令和5年度は、10回目の開催となります。

【選定の対象となる取組】

地域において、新たな需要の発掘・創造や埋もれていた地域資源の活用を行うことにより、農林水産業・地域の活力創造につながる、次の①から③のいずれかに該当する取組が対象です。

- ①美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
- ②幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生
- ③国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

【選定地区に対する取組】

選定された地区へは、選定証を授与します。また、特設サイト等での活動紹介や、様々なイベントへの出展支援を通じて、全国的な情報発信を行います。

ディスカバー農山漁村の宝

第9回選定事例

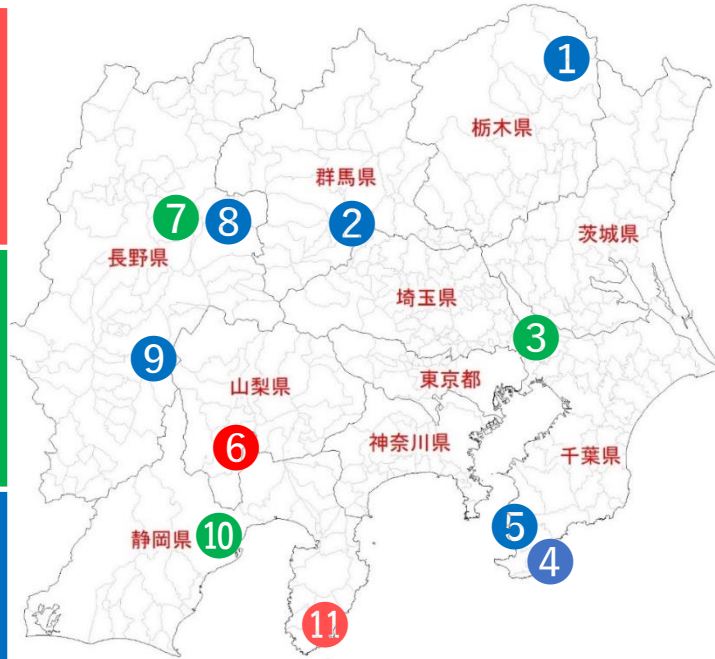
6 (関)	自我寺参（インナージャーニーを求めて） 樋口 純子 （山梨県南巨摩郡身延町）
----------	--

7 (全)	眺めるだけじゃない、カカワレルイナダ 稲倉の棚田保全委員会 （長野県上田市）
----------	--

8 (関)	持続可能な鳥獣対策をめざして 小諸市（野生鳥獣商品化施設） （長野県小諸市）
----------	--

9 (全)	輸出米を軸にした新しい街づくり 株式会社 Wakka Agri （長野県伊那市）
----------	--

10 (関)	「棚田」と「美しい農村」を次の時代へ 静岡大学棚田研究会 （静岡県静岡市）
-----------	---



ビジネス・イノベーション部門	番号下（全）は全国選定、（関）は関東農政局選定
コミュニティ・地産地消部門	
個人部門	

11 (関)	生き物が支え合う持続可能な農園作り 高橋 鉄兵 （静岡県下田市）
-----------	--

1 (全)	『米を作るな、未来を創れ！』 稲作本店 （栃木県那須郡那須町）
----------	---------------------------------------

2 (関)	農福連携で地域農業を支える 社会福祉法人ゆずりは会 菜の花 （群馬県前橋市）
----------	--

3 (関)	手賀沼スクールヤード 手賀沼を校外の学び場に 手賀沼アグリビジネスパーク事業推進協議会 （千葉県柏市）
----------	---

4 (関)	「坐して疲弊を待つな。」走り続ける地域の魅力最適化企業 株式会社ちば南房総 （千葉県南房総市）
----------	---

5 (全)	新たな家業を創る・地域クラフト製造業 きょなん株式会社 （千葉県安房郡鋸南町）
----------	---

1

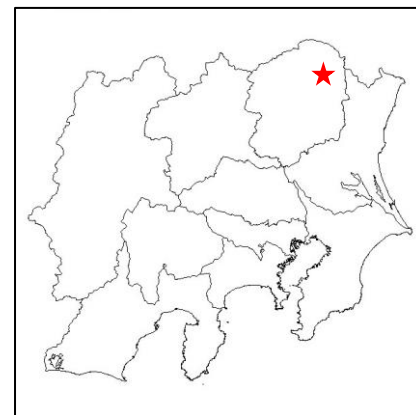
稲作本店

～ 『米を作るな、未来を創れ！』 ～

ビジネス・イノベーション部門

6次産業化

地産地消



所在地：栃木県 那須郡那須町



田んぼでカフェの様子



代表者夫婦、稲穂の田んぼで

概要

- 「田んぼの価値最大化」を目指すとともに、「お米農家」から「お米専門ブランド」としての定着に向けた活動を実施。
- クラウドファンディングを活用し「田んぼでカフェ」の開催や米粉ワッフル・ポン菓子「イナポン」などの製造・販売を実施。田んぼの魅力を発信しながらビジネスとして成長。

成果

- 米の直販数は3t（平成30年度）から30t（令和3年度）の10倍に増加するとともに、インターネット販売・卸販売・直販売上は約2,500万円（平成30年度）から約4,000万円（令和3年度）に増加。
- タケノコ等の農産物、6次化商品の売上は、270万円（平成28年度）から4,100万円（令和2年度）に増加。



田んぼでキャンプ

② 社会福祉法人 ゆずりは会 菜の花

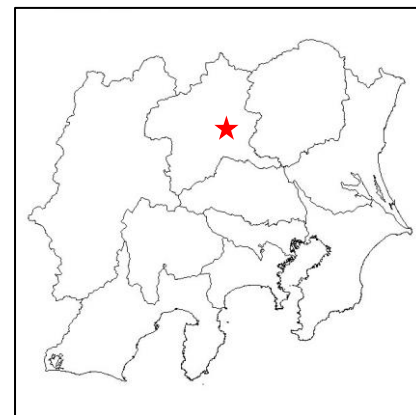
～ 農福連携で地域農業を支える ～

ビジネス・イノベーション部門

農業

荒廃農地対策

農福連携



所在地：群馬県 前橋市

米穀乾燥調製施設（ライスセンター）での作業

概要

- 障がい者が生活自立に向けて行う活動で、地域農業の一翼を担う農福連携を実践。独自にライスセンターを運営して地域農家の米の乾燥調製から袋詰を請け負うほか、日々、農作業に取り組む。
- 地元小学校と連携して、総合学習用の田んぼを提供。お米の育て方を学ぶほか、水辺の生き物観察などの多岐にわたる授業に貢献。

成果

- ライスセンターの受託は、43件（平成29年度）から65件（令和3年度）に増加。
- 農業関連の売上げが平成29年から5年間で約2.5倍に増加し、令和3年度の平均工賃は50,000円を突破。（群馬県平均17,562円）

販売用の水稻苗

地元小学生の田植え体験

③ 手賀沼アグリビジネスパーク事業推進協議会

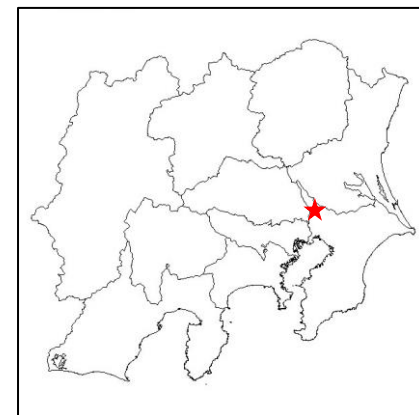
～ 手賀沼スクールヤード 手賀沼を校外の学び場に ～

コミュニティ・地産地消

農村環境・景観保全

食育・教育

関係人口の創出



所在地：千葉県 かしわし 柏市



小学生の稲刈り体験



漁協施設を活用した漁業体験



小学生によるかぶ販売会

概要

- 道の駅を中心に農を軸にして多様な主体が連携し、近隣の学校に林間学校や校外学習等の教育旅行プログラムを提供。生徒・児童や家族がリピーターとなり、関係人口の創出や地産地消に貢献。
- 小学生によるカブの販売会、荒廃竹林の「整備体験&キャンプ」や水辺での「ゴミ拾い&アート作り」など、拠点を活用したイベントを多数実施。

成果

- 令和2年度に257名、3年度は871名の小学生を受入れ、農業体験等の売上げも、約51万円から約322万円に増加。
- 3年度は、5戸の農家を含め23もの団体・個人が活動に参加し、多様な体験プログラム等を実施。

株式会社ちば南房総

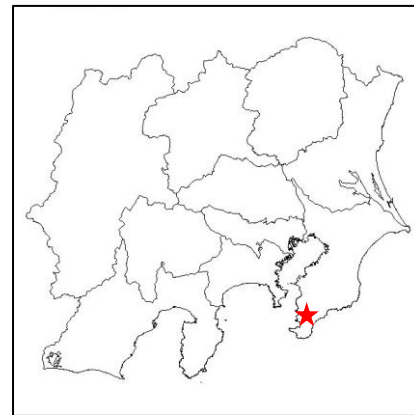
～ 「坐して疲弊を待たぬ。」 走り続ける地域の魅力最適化企業 ～

ビジネス・イノベーション部門

農業

6次産業化

地産地消



みなみぼうそうし

所在地：千葉県 南房総市

地元農産物が多く並ぶ「びわマルシェ」

概要

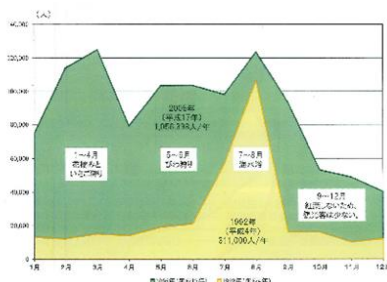
- 地域に点在する観光資源を束ねて、日帰り客を一括受発注するシステムを開発、年間を通じたバスツアーの誘致により、地域経済が飛躍的に拡大。
- 地域**と連携し、廃棄されていた規格外の枇杷（びわ）を活用したオリジナル商品を開発、「南房総みやげ」として定着。また、枇杷農家の後継者育成にも着手。

成果

- 平成29年度に直売所を開設以来、横ばいとなっていた売上げが、**近隣者利用が増え**、約40%向上。また、令和3年に開設した、ECサイト「南房総いいもの市場」においても、約1,500万円を売上げ。
- 若手枇杷農家向けに「枇杷ゼミ」を開催し、約30名が参加。



規格外びわを加工したオリジナル商品



一括受発注システムによる観光客平準化効果

5

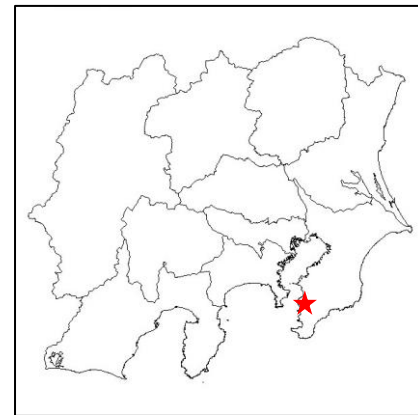
きょなん株式会社

～ 新たな家業を創る・地域クラフト製造業 ～

ビジネス・イノベーション部門

雇用

地産地消



所在地：千葉県 安房郡鋸南町
あわぐんきょなんまち

クラウドファンディングによる燻製肉のPR・クロスセル

概要

- 地元農家から仕入れる副原料でクラフトビールを開発。ラベルに仕入れ先の農家の名前を記して、観光・宿泊・飲食店等に販売。
- 「地域発クラフトビール×桜燻製ベーコン」でブランド確立・広域販売。地域内循環や地域の雇用に貢献。

成果

- インターネット販売・店頭・広域販売を強化し、クラフトビールの売上が約400万円（平成29年度）から約2,200万円（令和3年度）に増加。
- コロナ禍でネットワークを得て、連携セット商品のインターネット販売や民間事業者仲間づくりで農商工を「つなぐ」役割として貢献。

少量・多種を活かしたコラガ商品開発

ブランドロゴと定番ビール

6

樋口 純子

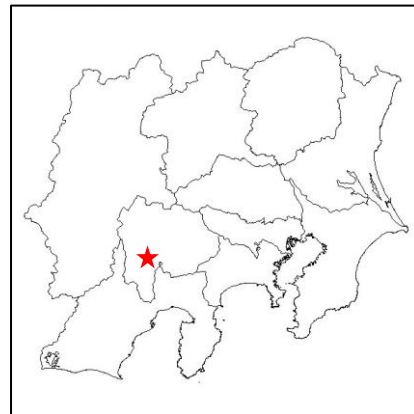
～ 自我寺参（インナージャーニーを求めて） ～

個人部門

6次産業化

農 泊

関係人口の創出



みなみこまぐんみのぶちよう

所在地：山梨県 南巨摩郡身延町

門前町活性の農泊施設 迎賓館えびす屋

概 要

- オンリーワンの地域資源（宿坊）での体験、地元農家と連携した特産品（あけぼの大豆）活用のレシピ提供等により来訪者が増加。
- 地域と連携し、農泊をキーとしたツアーをオーガナイズしインバウンドや日本在住外国人等の旅行商品を開発。

成 果

- カルチャーツアー・リトリートツアーやインバウンド需要により、宿坊の売上げは、取組開始前の約1000万円から、令和3年度には約3,500万円に増加。
- 来訪者の受け皿を拡大と、お困りごと解決のため農泊・カフェの取組を開始。雇用の創出など、地域の活性化に貢献。



身延町特産あけぼの大豆 自家製納豆



総務省ふるさとづくり大賞総務大臣奨励賞受賞

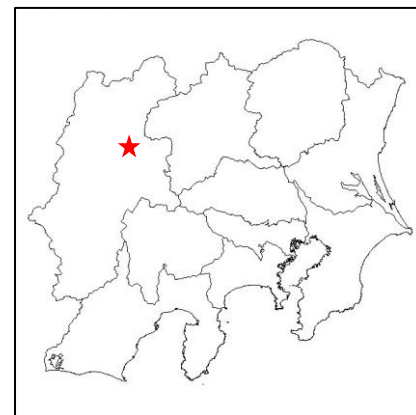
稲倉の棚田保全委員会

～ 眺めるだけじゃない、カカワレルタナダ ～

コミュニティ・地産地消

農村文化体験

棚田保全



所在地：長野県 上田市

秋の田んぼでキャンプ風景

概要

- 平成15年に周辺の自治会や市、JAと連携して設立。棚田の保全・多面的機能向上のため、五穀豊穰等祈念に松明を持って歩く「ししおどし」の開催・小中学生の農業体験受入など多種多様な取組を実施。
- 「棚田オーナー制度」導入のほか、地元酒造会社と連携した「酒米オーナー」など消費者ニーズに合わせたコースを展開。

成果

- 農閑期の棚田を有効活用した「棚田キャンプ」を平成29年から継続的に開催し、棚田の景観・地形等を生かした体験・交流の機会を創出。
- 棚田米オーナー等の総数は70組（平成29年度）から96組（令和3年度）に増加。

小諸市 (野生鳥獣商品化施設)

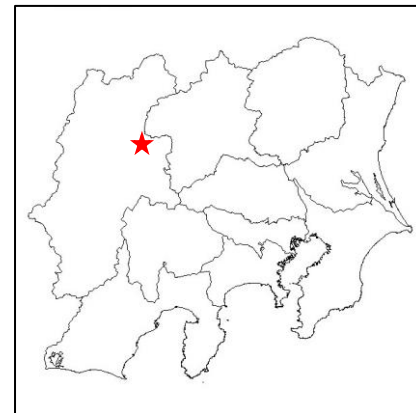
～ 持続可能な鳥獣対策をめざして ～

ビジネス・イノベーション部門

ジビエ

鳥獣被害防止

環境保全（農林水産業・
食品産業）



所在地：長野県 小諸市



ニホンジカの解体作業



小諸ブランド鹿肉ペットフード

概 要

- 駆除した鹿を、大学の獣医学部との連携によりペットフードなどの商品を開発、販売。
- 鹿革を使った商品開発にも取り組み、バックや財布などに加工。大手百貨店や通信販売サイトでの販売、ふるさと納税の返礼品として利活用の幅が拡大。

成 果

- 駆除鹿の処理数が、平成29年の約600頭から、令和3年度には約1,600頭に増加するとともに、事業収入が728万円から3,660万円と、約5倍に増加。
- ふるさと納税による寄付額が、平成29年の71万円から令和3年度のは1,342万円に増加。



小諸市産の鹿革商品

9

株式会社 Wakka Agri

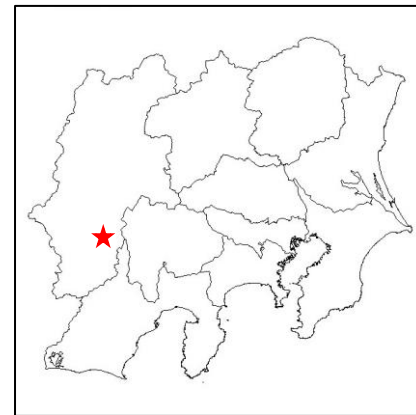
～ 輸出米を軸にした新しい街づくり ～

ビジネス・イノベーション部門

輸出

棚田保全

雇用



いなし

所在地：長野県 伊那市

棚田における荒廃農地を再生、集落の人達と田植えを実施

概要

- 「海外コメ市場へのマーケットイン」を軸とした荒廃農地の再生と無農薬米の生産。
- 荒廃農地の増加・担い手不足といった農山漁村の課題に対し、輸出市場開拓により解を見いだす取組を実施。

成果

- 海外市場に目を向け、香港・シンガポール・台湾・ハワイ・ニューヨークでPR活動を実施し、令和3年度は15tの輸出を達成。
- 荒廃農地の再生面積は1ha（平成29年度）から10ha（令和3年度）に増加するとともに、他地域への横展開に必要な再生技術のノウハウを蓄積。

少量・多種を活かしたコラボ商品開発

再生した古民家で様々なイベントを企画

静岡県棚田研究会

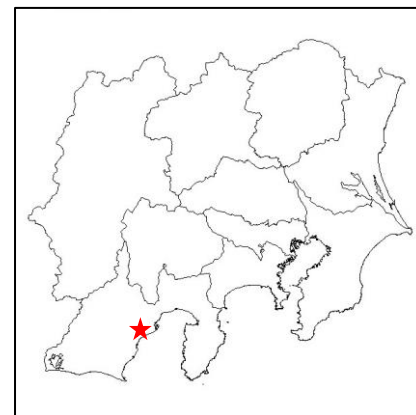
～ 「棚田」と「美しい農村」を次の時代へ ～

コミュニティ・地産地消

棚田保全

学生・若者の活躍

関係人口の創出



所在地：静岡県 静岡市

NPO法人「せんがまち棚田倶楽部」との集合写真

概要

- 菊川市のNPO法人と連携した棚田保全活動を平成21年より開始。棚田オーナー事業のインストラクターのほか棚田での各種イベントを支援。
- 大学でのイベントやSNSにおいて情報発信を行い、棚田保全や地域農業の重要性などをPR。

成果

- 研究会の発足以来、例年、のべ300～500名の学生が棚田での農作業支援等に取り組み、高齢化が進む地域農家の負担を軽減。
- 大学の学園祭において、棚田保全の必要性をPRするとともに、令和元年から、InstagramなどSNSによる情報発信の強化に取り組み、イベント等への集客に貢献。

インストラクターとしてオーナーに田植え指導

大学祭において、棚田保全をPR

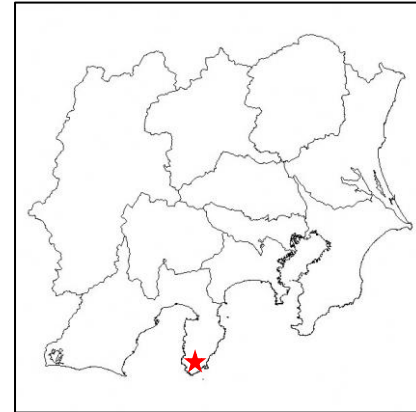
高橋 鉄兵

～ 生き物が支え合う持続可能な農園作り ～

個人部門

6次産業化

荒廃農地対策



所在地：静岡県 下田市

2haの耕作放棄地が、無農薬のレモン等の果樹が広がる農園に

概要

- 平成24年に、新規就農で養蜂を開始、29年から耕作放棄地を譲り受け農園の造成に取り組み、農園体験や農産物の販売をとおして、養蜂や果樹栽培に欠かせないミツバチの重要性を発信。
- 蜂蜜加工品及び、地域の事業者と連携したコラボ商品を開発・販売。

成果

- 耕作放棄地となっていた約2haのみかん園を、果樹園として再生し、採蜜、農園体験を受入。
- 蜂蜜加工品15種類を販売し、下田市公認ブランド商品にも認定。また、10か所の事業者とコラボ商品を開発・販売し、地域活性化にも貢献。

採蜜体験

蜂蜜を加工した、石鹸とリップクリーム

ディスカバー 農山漁村の宝 AWARD

～第10回選定～



エントリー募集

応募は
こちらから



農林水産省では、農山漁村の地域資源を活用した地域の活性化や所得向上に向けた取組を募集しています。ご応募頂いた中から特に優れた取組については選定証の授与や、特設Webサイトへの掲載、交流会の開催などを通じて、全国に広く発信していきます。キラリと光り輝く可能性の宝庫である、あなたと、あなたのふるさとの底力を見せてください！



第9回選定交流会の様子
(総理大臣官邸)

募集期間

2023年6月16日(金)～8月27日(日)

お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課 農泊推進室 地域活性化 G
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話(直通): 03-3502-5946

「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ

▶ <https://www.discovermuranotakara.com/>

むらの宝



過去の選定事例はこちら

▶ <https://www.discovermuranotakara.com/sentei/select-map.php>

